

教科・科目		教科書
歴史総合		明解 歴史総合（帝国書院）
学年	単位数	使用教材
1年（基礎） 2年（文理）	2	明解 歴史総合ノート（帝国書院） 明解 歴史総合図説シンフォニア最新版 （帝国書院）
科目の概要と 目標	グローバル化や情報化、少子高齢化など急激に変化する現代社会に至る歴史的過程を理解し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成する。特に、現代世界の諸課題が形成された歴史的背景について理解を深め、歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察する力を習得する。また、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	

学期	学習内容（単元等）	到達目標
I	1部 歴史の扉	・身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解し、考察し、表現する。 ・絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解する。
	2部 近代化と私たち	・近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 ・市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について理解し、現代社会に与えた影響と課題について、追究する。 ・国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解する。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解する。 ・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解する。 ・明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現する。

学期	学習内容（単元等）	到達目標
2	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	・国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現する。 ・国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解する。 ・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解する。 ・世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解する。 ・冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解する。
3	4部 グローバル化と私たち	・グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 ・冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解する。 ・冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解する。 ・冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解する。 ・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現する。